

2026年1月15日

お取引様各位

株式会社 K.J.フェロー
〒231-0011
横浜市中区太田町 6-85
RK Cube 4F

【重要】MOBOTIX 旧 Mx シリーズにおける日時リセット事象と対応のお願い

平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。現在、弊社が取り扱っております MOBOTIX 製品（旧シリーズ）において、再起動後に内部日時がリセットされる事象が確認されております。下記の通り現状の報告と対策をご案内申し上げます。

【事象の概要】

2026年1月以降、MOBOTIX の旧世代モデル（Mx5 / Mx4 / Mx2 シリーズ）において、カメラを再起動すると内部日時が「2000年」にリセットされる事象が発生しております。本件は、特定の設置環境や設定に起因するものではなく、該当シリーズ共通の問題としてメーカーにて確認されており、対策済みのファームウェアがリリースされましたので、以下の通りご案内いたします。

【対応方法】

・ Mx4 / Mx5 シリーズ：

以下、ファームウェアダウンロード先になります。

<https://www.mobotix-japan.net/download/software/4.7.3.11-r7/index.html>

対応ソフトウェア v4.7.3.11-r7

対象機器：D24M、M24M、Q24M、T24M、D14Di、S14、V14D、i25、c25、p25、v25、D25M、M25M、Q25M、T25M、D15Di、M15、M15-Thermal、S15、V15D 等

・ Mx2 などの旧機種：

誠に恐縮ながら、製品ライフサイクル（サポート期間）終了に伴い、修正ファームウェアの提供予定はございません。後述の対処にてご対応をお願い申し上げます。

対象機器：M12、M22、D12、V12、D22、Q22 等

【重要】ファームウェア「MX-V4.7.3.11-r7」インストール手順

カメラの時刻が「2000 年」のままアップデートを行うと、**“Fatal: Signatures failed. Aborting.”**（致命的エラー：署名に失敗しました。中止します）というメッセージが表示されますので、以下の手順 1 から進めてください。

FW MX-V4.7.3.11-r7 インストール手順

1. **Admin Menu** → **Time & Date** を開く
2. 「**Set time to time of local PC**」をクリックし、適用されるまで待つ
3. **Admin Menu** → **Update System Software** を開く
4. **MX_system_4_7311_r7.mpl** を選択し、アップロード
5. カメラを再起動する

※ 再起動後、カメラのシステム日時は再び 2000 年にリセットされますが、これは仕様上想定された挙動となります。

1. 再度 **Admin Menu** → **Time & Date** を開く
2. 「**Set time to time of local PC**」をクリック
3. **Admin Menu** → **Reboot** → **Reboot the camera** を実行し、再起動

【推奨事項】2000 年付の不要なファイルを削除するためのリセット

2000 年の日付で作成された残存ファイルを削除するため、以下の操作を推奨します。

1. **[Admin Menu] → [Reset to factory settings]** を開きます。
2. “**Remove logs**” にチェックを入れて実行します。
3. **SD カードおよび MxFFS 録画の設定**を確認してください。

問題が発生する場合：

- SD カードをフォーマットしてください。
- MxFFS アーカイブを削除してください。
- ディレクトリ構造を持つ従来のファイルサーバー録画（NFS または CIFS をプライマリ ターゲットにしている場合）については、古いディレクトリを別の場所に移動させ、新しい録画を開始してください。

【お問い合わせ先】

株式会社 K.J. フェロー 営業部
Email:cam-sales@kjfellow.com

以上